

シェフ三瀧の“時事中国語調理の秘訣”

「～的(てき)」という日本語に相当する中国語は何か、と言われると、一言では答えにくいものです。限定語(連体修飾語)の場合と状況語(連用修飾語)の場合でも異なります。

限定語の場合、定型は“有～性的+N”で、“带～性的+N”“带有～性的+N”もあるし、省略形として“～性的+N”“～性+N”もごく普通です。状況語の場合は“～地+V”となるのが普通ですが、注意しなければならないのが、ある一群の語彙です。

これらの語彙は、通常、構造助詞(“的”や“地”)の助けを借りずにそのまま名詞や動詞にかかり、日本語に訳す時には「～的(てき)」と訳す事が可能です。例えば“长期”“科学”“原则”“根本”などがそれに当たり、“长期目标”(長期的な目標)、“长期从事”(長期的に従事する)、“科学发展”(科学的な発展・科学的に発展する)、“原则协议”(原則的な合意)、“原则通过”(原則的に承認する)、“根本解决”(根本的に解決する)といった使い方ができます。中国語から日本語に訳すときはほぼ問題ないのですが、逆の場合になると、よく学生がまごつきます。

なお、日本語の「的(てき)」と中国語の“的”はもちろん役割が違いますが、結果として見た目は似たものになる場合も有ります。代表的な例としては、上記の“科学”が名詞にかかる時に“的”を用いた場合の“科学的+N”が挙げられます。

